



ハルキ

Narrator

キネマ

Silent Film

新垣隆

Pianist

世界3大喜劇王
 Harold Lloydの最高傑作「喜活劇」が

ハルキの語りと新垣隆の生ピアノで魅る!!



silent film
HAROLD LLOYD
"Safety Last"
ロイドの
要心無用



無声映画 ロイドの要心無用

テロリー・チャップリン、バスター・キートンと共に「世界三大喜劇王」の一人に数えられるHarold Lloydは、日本での人気が高くなり、興行成績でも度々チャップリンを上回っていた。約200本に及ぶロイドの主演作の中で本作はその最高傑作に挙げられる作品であり、全七巻の長尺を息も離れず見せる手腕が高く評価され「喜活劇」とも評された。

ピアノ生演奏 新垣隆

1970年東京生まれ。桐朋学園大学音楽部卒。2013年度まで母校の講師を20年近くにわたって務め、後進の指導及び日本の明治期から昭和期における作曲家達の研究に従事する。現在、作曲家、ピアニストとして多岐にわたり精力的に活動。

活動弁士 ハルキ

公演プロデュースの他、16mm映写機・伴奏音楽のオペレーションも担当し、そのかたわらで映画説明（活動写真弁士）の習得に努めた。2011年デビュー。七色の声と歯切れの良い語りで、古典サイレント映画を現代のエンターテインメントとして魅らせる。

- 1923年 アメリカ バター・社作品 ●上映時間 67分
- 日本封切 大正12年12月31日 牛込館/キネマ旬報ベストテン娯楽的優秀映画の部 第3位
- スタッフ 製作・原作…ハル・ローチ / 原作…ティム・ウィーラン ほか
- キャスト 青年…Harold Lloyd / 令嬢… Mildred / デイヴィス 友人…ビル・ストロザー / 警官…ノア・ヤング / 売場支配人…ウエストコット・B・クラーク

ストーリー

大きな夢と希望を抱き、生まれ故郷を後に憧れの都会へとやって来たHaroldは、あるデパートに就職する。一日も早く出世し、愛するMildredと一緒に町で暮らそうと願っているのだが、現実には厳しく仕事では失敗ばかり、なかなか思うようにはいかない。それでも、Mildredへ送るラブレターには「仕事は順調でどんどん拍子に出世している」と、嘘とも願望とも妄想ともどれる言葉を書き綴っていた。そんな彼からの手紙を真に受けたMildredは、母親にも薦められ、喜び勇んで愛しいHaroldの許へとやってくる。突然の婚約者の訪問に驚いたHaroldは、実態がバレては大変と必死にその場を繕うとするのだった…。そんな折、店の知名度を高めようと考えた総支配人が「店に客を集めるアイデアを出した者に1000ドル払おう」と話しているのをHaroldが偶然耳にする…。

11/2

[木]

全席指定
開場 18:30 開映 19:00

チケット●前売り2,500円/当日3,000円

【前売券取り扱い】岡谷スカラ座 (店頭・電話予約) 10月6日より
笠原書店岡谷本店 (店頭のみ) 前売開始!

会場 岡谷スカラ座 岡谷市中央町2-4-14

【問い合わせ】岡谷スカラ座 Tel.0266-22-2773